

子ども自身に障がいはどう伝えればいいのか・・・



上の標題は、新聞記事の見出しで「アスペルガー」と診断されている小学5年生の娘さんを持つ母親からの相談です。そして、それに対するアドバイスが記事として記載されていました。今、軽度の発達障がいを持つ子どもさんのことで悩まれている保護者の方が増えているように感じておりましたので、参考にさせていただきたく紹介します。

ある高校生の話です。保健室でアスペルガーの本を見つけ、「これは僕です」と先生に本を見せて伝えたそうです。自分を知ることはつらいことでもありますが、知ることで成長があると思います。また、ある方は、いくら勉強をしても、いい点が取れず、「努力が足りない」と言われ続けました。30歳を超えて診断を受け、ほっとされたそうです。

それぞれの事情があると思いますが、その子どもにとってつらい時期があり、手を差し伸べるのに適切な時期があるような気がします。あるお母さんは35歳まで娘さんをずっと育ててきました。ある時そのお母さんが病気になり、施設を考えないといけなくなった時、初めて療育手帳が必要になり本人に告知しました。この娘さんは当時、非常につらい思いをしたと思います。

親子でいろいろ話す機会があると思います。その機会を見極め、愛情を持って伝え、話してあげることが大切であると思います。

軽度の障がいのあるお子さんに自分の障がいのことをどのように伝えていけばよいのか。それが思春期であれば心の揺れもあり大変なことです。社会で生きていけるように親として導いてあげればと思います。そのためには障がいを隠すのではなく、障がいと向き合っていくことだと思います。親子が良い人間関係を保ち、子どもさんを社会に送り出すという使命を持って育ててあげてください。私たち相談員も是非支援していきます。

シャイニングクラス（適応指導教室）

「 ~もう1ヵ月・やっと1ヵ月 ~」

新緑がまぶしい季節を迎えました。新年度になってもう1ヵ月が過ぎました。少しずつ今年度らしい雰囲気になってきました。3人でのスタートでしたが、新たに2人が加わりました。芽吹き・新芽の成長のとき、きっと、自分の生活を何とかしたいという思いからの行動と信じています。朝の挨拶は明るく爽やかに。強く願いながら、なかなか大きな声や爽やか声色になっていないのは私。朝、集合場所に来ていない人がいると、「〇〇さんは、どうしたんですか。」と、心配のあまり、聞いてくる仲間意識がもうできています。同じような過去を経験し悩みを持っていると感じている証拠でしょうか。



< 授業の1コマ >

大変喜ばしいことに、シャイニングクラスでの学習終了後、計画的・継続的に登校するようになりました。「新年度は毎週〇曜日に行こうと思います。」が「4月25日から行きます。」になり、登校しています。私達の心配は何だったのでしょうか。その後は順調に毎週同じ曜日に当たり前のように登校しています。他の仲間もそれぞれ自分で決めて、自分らしく登校しています。学校へ行くのが当たり前で、嬉しいことだけではないかもしれませんが、学校で様々な経験をしながら、自分らしく振舞えるようになることを期待している今日この頃です。

「芽吹きの中の森林浴と絶景を堪能」 体験活動① 4月24日(木)

自然体験にはもってこいの天気の下、体験活動の1回目を実施しました。「陣ヶ峰展望の森から鳥海山・月山そしてわが新庄盆地を眺める」という体験です。日ごろの体力不足解消や自然とのふれあい・自然からの発見をねらいとし、通級生4名を含む総勢9名が、市民の森駐車場を元気に出発しました。

ナラの芽吹きとスカッとした青空が、咲き始めた山桜やこぶしをなお一層鮮やかにしているようです。



< ミズバショウ >



<息を荒げながら展望台をめざす>

落ち葉の中でも埋もれず咲いているのは可憐なスマレやショウジョウバカマ、春を待ち焦がれていた鳥のさえずりにも心躍らせながら、一行は足を進めました。タヌキの糞の多さに驚いたり、はたまたウサギの糞を手にとったり、カエルで大騒ぎの場面ありと、ねらいは大方達成です。

額に汗し少々息を荒げながらたどり着いた陣ヶ峰の展望台、決して高い山ではないのですが、登りきった者だけへの御褒美でしょうか。どっしりとした残雪の山並と眼下に広がる新庄盆地、その素晴らしい眺望に「オーッ」「ウワーッ！」の歓声。一瞬にして心洗われるような、この時間がずっと続いてほしいような思いと、小さなことに惑わされるのが無意味なような、不思議な思いが沸いてきました。生徒たちも、雄大な景色を脳裏に刻み、動植物の強さ美しさを存分実感し下りました。まとめの中で「達成感いっぱい。」の感想に活動の成果が凝縮されているようで、うれしく思いました。

あ と が き

地区高校総体の報道記録から、卒業生の名前を探してはマーカーペンでしるしをつけ、活躍の様子を想像しています。6月はサッカーW杯ブラジル大会、初戦のコートジボアール戦は日本時間15日、午前10時キックオフ、ザックJが世界に挑みます。サッカー少年に、子どもたちに大きな夢を与えてほしいものです。その一週間後には地区中総体前期大会が開催されます。3年生にとっては集大成、目指せ！優勝、若い力の躍動が楽しみです。

5月の活動 シャイニングクラス在籍 5名

< シャイニングクラスの学習 >

- 月曜日 数学、国語
- 水曜日 社会、英語
- 金曜日 理科、体育
- 木曜日 体験活動(月2回)



- ◆ 体験活動① 4月24日(木) 陣峰市民の森散策
- ◆ 体験活動② 5月8日(木)

春の植物観察と俳句づくり

- ◆ 体験活動③ 5月15日(木)
畑作業「作物の植え付け」(さつまいも・里いも・枝豆・綿・紅花)
- ◇ 4月の学校訪問【市内小中学校対象】
4月21日(月)・22日(火)・28日(月)の3日間で、10校を訪問させていただきました。
- ◇ 5月の連絡会(スクールカウンセラーとの連絡会を含む)
5月14日(水)・16日(金)・22日(木)にシャイニングクラス通級生の在籍校と連絡会を開催しました。

教育相談連絡先

- ダイアルなんでも相談
TEL 23-7266
- 適応指導教室(シャイニング)
TEL 22-2111
(内線 445、448)
林、小野、鈴木が担当です。